

長野県下伊那郡阿南町議会

1 政策づくりと監視機能を十分に発揮している議会

請願等出された付託案件については、参考人等を委員会に招致し、採択された請願等の意見書については、もちろんであるが、独自の視点で意見書提出を行っている。

また、町からの提案案件等については、今までは聞くのみであったが、昨年末より議員のみの全員協議会を開催し、自由に論議できる場を作るとともに、定例議会の無い月を利用して全議員で議会だよりの作成や農業委員会制度等の専門分野について研修会を開催している。

また、議会事務局職員についても、全国議長会主催、または県議長会主催の研修会に積極的に派遣している。

2 住民に開かれた議会

平成 27 年春の統一地方選の折の町議会議員一般選挙において、阿南町で初めて無投票選挙となったことから、全国的にそうかもしれないが、議会への関心を高めてもらい、議会が何をやっているのかを知っていただくことが重要と考え、同年就任した議長の提案により「議会あり方検討会」が数回開催された。その後、実行に移せるよう「阿南町議会活性化協議会」に移行し、協議実践を行ってきた。平成 28 年 7 月に実施された参議院議員通常選挙からの 18 歳以上の選挙権に絡め、地元の小学校 4 校と中学校 2 校、高校 1 校へ、町教育長を通じて議会傍聴並びに議会出前懇談会等の斡旋を呼び掛けていただいた所、6 月議会において 3 校の小学 6 年生 26 名、高校 3 年生 63 名が傍聴に訪れてくれ、「緊張した。」「難しかった。」「政治に興味を持った。」等の感想をいただいた。また、2 校の内 1 校の中学の 3 年生と議員との懇談会を行い、議会のことがわかったと言っていた。また、もう 1 校の中学 3 年生との懇談会も 12 月に実施することとなっている。

その他に保育園保護者会、小中学校 P T A、入園前の保護者等、各種公的団体との懇談会を呼びかけており、徐々に実施に向けて調整中であります。

また、決まった方の傍聴しかなかったため、効果があるのかどうかもわからないので、まずは実践あるのみということから休日議会について春から検討を始め、町理事者へ要望し、12 月定例議会を町として初めての日曜議会を開催することとなった。

現在議会中継については、定例議会の町長あいさつと一般質問を録画にて配信しており、議会の生中継を町へ要望したところ、現在、町の C A T V の機械が古く、ライブ中継を配信できないものであることがわかった。今後は町へライブ中継が可能となるよう機械の更新等も求めていく。

また、議会広報「阿南町議会だより」ですが、現在 6 人の議員で構成する編集委員で、定例議会の翌月 15 日配布で年四回作成しております。平成 12 年発行以来第 67 号まで発行してきたが、議会側本位の紙面であったことに気づき、本年春、地元紙の新聞記者に新聞作りのレクチャーを受け徐々にではあるが、見やすい紙面、入りやすいタイトル、余白利用等に力を注いでいる。今後は、議会の賛否等開かれた議会についても、議会だよりからも目指せるよう努

力しているところである。

3 地域振興のために特別な取組みをした議会

住民に開かれた議会を目指し、出来ることは実践していくこととし、「阿南町議会活性化協議会」を平成 27 年度に立ち上げ、町民目線の議会へと改革を進めるとともに、議員一人ひとりが、地域内での行事等へは積極的に参加することとした。

また、町内 3 保育園では、園児と議員とが触れ合う機会を作るため、五平餅作りや陶芸体験等の交流会を毎年開催している。

その他には、町職員と一緒に、地域内の環境整備で道路や施設周りの草刈り作業の実施しており、新聞、段ボール等の資源回収の際の作業ボランティアを行っている。